

接近^{せっきん}NO! 餌付け^{えづけ}NO!!

人がつくる新たな環境リスク

～野生生物と共生するための知識とスキルを、私たちはどう共有し実践していくのか～

2020/12/6 **日** SUN

10:00～17:30 (※9:30からアクセス可)
オンライン開催

参加費 きたネット会員・学生 / 1000円 一般 / 1500円 ライブ配信を視聴いただけます。当日参加できない方も、後日録画を視聴いただけます。

【参加方法】パソコン、タブレット、スマホなど、インターネットに接続できる環境でご参加ください。

【参加申込み方法】事前申込み要・12月3日(木)までに、WEBのお申込みフォームやメール、FAXでお申込みください。

<https://kitanetforum2020.peatix.com>

PROGRAM

10:00～ INTRODUCTION

10:10 接近NO!餌付けNO!!の必要性を知る

～12:20



基調講演1

人と野生生物、それぞれの命を守る距離がある

講師/齊藤 慶輔さん(猛禽類医学研究所 代表、獣医師)



基調講演2

ヒグマに対する、意図しない餌づけ行為の危険性

講師/石名坂 豪さん(公益財団法人知床財団 主任研究員)

第1部

PROGRAM

13:20 接近NO!餌付けNO!!
～14:00 実現のために

【コーディネータ】



左)長谷川 理さん
(NPO法人EnVision環境保全事務所)

右)池田 貴子さん(北海道大学
高等教育推進機構CoSTEP 特任助教)

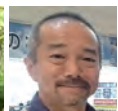


餌付けに対する価値観・自然観の多様さ、
共通認識をどこにおくか

愛甲 哲也さん
(北海道大学大学院農学研究院 准教授)

14:05 【テーマセッション1】
～15:30 餌付け問題にどう取り組む?
～産官学民の連携プラットフォームをつくらう～

【話題提供・パネリスト】



(写真左から)

鶴岡 匠太さん(環境省釧路自然環境事務所 自然保護官)

橋本 和彦さん(北海道環境生活部環境局自然環境課 主幹)

小川 巖さん(エコ・ネットワーク代表)

【パネリスト】

斎藤 慶輔さん、愛甲 哲也さん

15:40 【テーマセッション2】
～17:00 餌付けのリスクをどう伝える?
～餌付けNO!報道ガイドラインを提案しよう～

【話題提供・パネリスト】



山本 牧さん
(NPO法人もりねっと北海道 代表)

【パネリスト】

池田 貴子さん、石名坂 豪さん



左)沼田 博光さん
(HTB報道部)

右)内山 岳志さん
(北海道新聞 記者)

17:00～17:20

活動紹介

環境活動の新しい世代を応援しよう。



【活動紹介/北海道子育て世代会議】

左)佐藤 ふたみさん

右)吉澤 菜耶さん

17:20～ ENDING(17:30終了)

第2部

北海道環境活動交流フォーラム2020

人と野生生物の距離2

昨年のきたネットフォーラムで取り上げた感染症の問題が現実となり、
2020年新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界を襲い、未だ有効な対策を見出せない状況です。
一方、人の暮らしと野生生物の住み分けが崩れ、野生生物とのさまざまな危険な接触が生じています。
観光目的の餌付け、農業や漁業の残滓、放置された果樹園、交通事故など、
人間の行動が野生生物に与える影響が、まわりまわって、
人の暮らしを脅かすさまざまなリスクを生み出しています。
今年も、昨年のテーマ「人と野生生物の距離」をさらに進め、
接近や餌付けから起こる新たなリスク根絶のための
産官学民の連携と対策を考えます。

【お問い合わせ・お申込み】 NPO 法人北海道市民環境ネットワーク「きたネット」 Tel.011-215-0148 Fax.011-215-0149 E-mail office@kitanet.org 「きたネット Web」 <http://kitanet.org/> 詳細は裏面をご覧ください。

【主催】NPO 法人北海道市民環境ネットワーク 【協賛】一般財団法人セブン-イレブン記念財団

【協力】環境中間支援会議・北海道(環境省北海道環境パートナーシップオフィス、公益財団法人北海道環境財団、札幌市環境プラザ、(指定管理者:公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)、NPO 法人北海道市民環境ネットワーク)

